

卒業生の挨拶（張 雪）

三年間という時間は、本当にあっという間に過ぎてしまいました。新型コロナウイルスの影響で私は入学が一年遅れてしまいましたが、この三年間で得た経験は、かけがえのない宝物です。研究面でも生活面でも、多くのことを学びました。

日本は私にとって、中国とは全く異なる環境でした。正直なところ、日本の静けさや秩序ある生活は素晴らしい反面、時にその静けさが寂しさを感じられ、中国のにぎやかさや家族・友人たちの笑顔が懐かしくなることもありました。しかし、この静けさの中にある秩序と温かさは、今では私の価値観を大きく変え、この土地に深い愛着を持つきっかけにもなりました。

この三年間、私はたくさんの素晴らしい方々との出会いに恵まれました。まずは先生方に心からの感謝を申し上げます。先生方は常に私に多くの機会を与えてくださいました。学会での発表や論文執筆など、数え切れないほどの貴重な経験を積ませていただきました。さらに、私が実験で失敗した時やミスをしてしまった時も、先生方は決して責めることなく、一緒に原因を探し、次のステップへと導いてくださいました。人生の中で初めて、“失敗を通して成長できる”という体験をさせていただき、心の底から感動しました。この経験は、これからの私の人生において、大きな財産となるでしょう。

また、同じ研究室の陳さんには特別な感謝をお伝えしたいです。いつも親身に相談に乗ってくれ、実験やデータ整理のアドバイスをいただき、辛い時も笑顔で励ましてくれました。陳さんの優しさと頼もしさがあったからこそ、私はここまで頑張ることができました。

さらに、日本で特別な人と出会い、結婚という新たな一步を踏み出せたことも大きな喜びです。最初は日本語の練習のために話し始めた関係が、今では人生を共に歩む存在となりました。二人で旅した日本各地の景色は、どれもかけがえのない思い出です。

今年、私は日本で新しい仕事を見つけ、研究職として新たな一步を踏み出すことになりました。この場所を離れるのは正直とても寂しいですが、ここでの経験や学び、そして皆さんとの思い出は、私の心の中でずっと生き続けます。

最後になりますが、先生方、研究室の仲間たち、そして出会ったすべての人々に心より感謝申し上げます。皆さんと共に過ごした時間は、私にとって一生忘れられない大切な宝物です。これからもそれぞれの道でお互い頑張り、いつかまた笑顔で再会できる日を楽しみにしています。

本当にありがとうございました。

